

令和6年度自己評価結果公表シート

学校法人大阪青山学園青山幼稚園

1. 本園の教育目標

<教育モットー> 「健やかに」「体いきいき」「心のびのび」

生活やあそび、四季折々の行事を通して、子どもたちの「やってみたい!」の気持ちを大切に、
『遊びから学ぶ』保育教育活動を行う

- よい習慣や態度を身につけ友だちを思いやる子ども
- 元気よく遊び、進んで行動する子ども
- 身近な自然に興味・関心を持ち、自然に親しむ子ども
- よく見聞きして、よく考える子ども
- 自分の思いや考えをのびのびと表現する子ども

2. 本年度重点的に取り組む目標・計画

- ◎60周年記念事業「English クラス」の開設など
- ◎教員研修(資質向上の取り組み)
- ◎特別支援教育
- ◎保護者への情報提供
- ◎課外活動の充実
- ◎教員の ICT 化

3. 評価項目及び取り組み状況

評価項目	取り組み状況
English クラス	・外国人講師を定着させることが難しかった ・本科と English クラスのカリキュラムをどのようにこなしていくか今後の課題が残るが、子どもたちの一人ひとりの適応能力が高く、様々な活動に楽しく取り組むことができた
教員研修 (資質向上の取り組み)	保護者の皆様のご協力をいただき、年間10日を午前保育にして教員研修を行った。その他に本園のキンダーカウンセラーによる研修も3回行うなど、園内研修を充実させることができた。研修内容については、今後も吟味が必要である
特別支援教育	・個別の指導計画と教育支援計画の作成 ・園児一人ひとりの理解と、研修を通じて特別支援について学びを深めることができた
保護者への情報提供	・園だよりやクラスだよりなど、メールで一斉配信の他、紙面で配布するなど、保護者のニーズに合わせた提供を行った ・学年末の保護者アンケートの結果と改善点などを掲示し、共有することができた

課外活動の充実	絵画造形教室を導入し、さらに子どもの学びの機会を広げることができた
教員の ICT 化	・教員に一人1台のパソコンを支給し、事務作業の効率化を図ることができた ・共有フォルダにてデータを共有することができた、さらなる効率化を進めることができた

4. 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

取り組むべき課題や問題点について教職員間で共有し、一人ひとりが理解したり自由に意見交換したりしながら、今後の保育・教育活動と教員の質を高めることにつながり、今年度の目標と計画をそれぞれ実践することができた

5. 今後取り組むべき課題

施設設備の充実	園内・運動場等、園児が安全・安心して過ごすことができるような環境整備と、老朽化した箇所の補修を計画的に進めていく
教師像	・「やさしい気持ち」「目配り」「心配り」を常に心にとめる ・園児はもちろん、教員自身も保育が楽しいと思えるような幼稚園環境を整える ・共主体の保育・教育 ・学びに向かう保育・教育の実践
教員研修	・園内研修の充実と外部研修参加への推進 ・教員のさらなる資質向上に努める
保育教育活動の充実化	・English クラス充実のため、カリキュラムの見直しと外国人講師と日本人教員の連携など ・園児一人ひとりに目と心が行き届くよう、十分な教員を配置する
預かり保育の充実	昨今、共働きの家庭が増え、預かり保育を利用する園児が増えていることを踏まえ、保育内容の充実、人員確保、定員枠の増加など、保護者のニーズも踏まえ、今後どのように預かり保育事業を進めていくか見直す必要がある
地域との連携と外部への情報発信	・青山台小学校との連携を通して、子どもの発達・学びの連続性を理解し、園児の育ちを継続的に支援する ・SNS を上手く利用し、教育内容やさまざまな情報を発信していく
特別支援教育の充実	配慮の必要な園児とその保護者への対応や、関係機関との連携等、特別支援教育への理解と充実を図る
安全危機管理の向上	・研修を積み、教員一人ひとりの意識を高める ・地震・火災・不審者対応等の園としての独自のマニュアルを確立する

6. 学校関係者の評価

特に指摘すべき事項はなく、妥当であると認められている

7. 財務状況

公認会計士監査により、適正に運営されていると認められている